核 研 総 第 ３ ６ 号
令和　８年１０月　６日

関　係　各　位

大学共同利用機関法人自然科学研究機構
核融合科学研究所長　　山　田　弘　司
（公印省略）

特 任 研 究 員 の 公 募 に つ い て （ 依 頼 ）

このたび、当研究所では下記の要領で特任研究員を公募いたします。
つきましては、関係各位にお知らせいただくとともに、適任者の応募について、よろしくお取り計らいくださいますようお願いいたします。

記

1. 公募する職種及び人員
年俸制職員（特任研究員）　１名
適格者がいない場合は採用しないことがある。

2. 業務内容
ムーンショット型研究開発事業目標 10「2050 年までに、フュージョンエネルギーの多面的な活用により、地球環境と調和し、資源制約から解き放たれた活力ある社会を実現」の研究開発プロジェクト「革新的加速技術による大強度中性子源と先進フュージョンシステムの開発」（https://www.jst.go.jp/moonshot/program/goal10/A1_okuno.html）では、「これまでにないほど強力で、しかもコンパクトな加速器」をつくり出し、フュージョンエネルギーの実現を大きく前進させることを目標としている。
本プロジェクトにおいて、1A 重水素線形加速器に最適なイオン源開発及びイオン源の水素同位体効果の解明に関する研究に従事する人材を求める。この研究に従事する意欲があれば、これまでの研究分野は問わない。ただし、プラズマ科学やイオン源を含む粒子ビーム工学の研究経験、特に実験研究を有することが望ましい。
（変更の範囲）
原則変更なし。ただし、核融合科学研究所に置く部署の業務に変更する場合がある。

3. 勤務地
（雇入れ直後）核融合科学研究所（岐阜県土岐市下石町３２２－６）
（変更の範囲）変更なし。
※ 一部リモートによる勤務も可能

4. 希望事項
（１） 博士の学位を有する者、又は着任までに取得見込みの者
（２） 上記研究内容に取り組む意欲のある者
（３） 日本語又は英語により業務の遂行が可能であること

5. 公募締め切り
随時選考を行い、採用枠が埋まった時点で受付を締め切ります。

6. 雇用期間
令和８年１０月６日以降のなるべく早い時期から令和９年３月３１日まで
（ただし、本プロジェクトが継続していることを条件に、業績評価及び研究計画等の状況により、更新する場合がある。なお、更新による雇用期間は最長令和１２年３月３１日まで）

7. 給与
年俸制を適用し、年額４３８万円（月額３６万５千円）
（１年毎に行う業績評価結果に基づき、年俸を改定することがある）
※ 自然科学研究機構の規程に基づき、その他諸手当の支給あり

8. 選考方法
選考は、核融合科学研究所 URA 職員等選考委員会において行う。
選考においては書類審査を行い、必要に応じて面接を実施する場合がある。
面接を実施する場合の詳細は、書類選考を通過した者へメールで連絡する。

9. 提出書類
次の（１）～（６）の書類を電子ファイル（提出方法は下記 10.参照）により提出すること。
（１）履歴書：任意の様式による。可能な就任時期を明記すること。（写真添付、学位・取得学位名及び職歴を明記の上、連絡先に E-mail アドレスを記入すること。）
（２）研究歴：任意の様式による。Ａ４判　２ページ以内。
（３）就任後の抱負：任意の様式による。Ａ４判　２ページ以内。
（４）研究業績リスト：リスト作成にあたっては、当研究所の「研究業績リスト作成基準」（当研究所ホームページ https://www.nifs.ac.jp/about/recruit/ に掲載）によること。作成基準で示す項目に当てはまる実績は全てリストに記載すること。
　共著の論文については、共著者名をすべて記入し、それぞれの論文について、レフリーによる審査（査読）を経たものであるか、否かの区別を明確にすること。
（５）論文別刷：主要な論文（学位論文及び投稿中又は投稿予定を含む。）３編程度を添付すること。
（６）参考意見を述べることができる方２名の連絡先：応募者について参考意見を述べることのできる方２名の氏名及び連絡先を記載すること。

上記の書類は、Ａ４判横書きとし、それぞれ別葉の PDF ファイルとすること。
なお、上記に加えて、選考の過程で書類の追加提出を求める場合がある。

10. 書類の提出方法
提出書類を準備の上、所定のフォーム※から必要事項を送信すること。
受付後、提出書類のアップロード先などを記載したメールを随時送信する。休日を除く３日以内にメールが届かない場合には、下記 11.（１）の問い合わせ先まで連絡すること。
※ https://forms.gle/TST8GqVpBLZEpJnM7

11. 問い合わせ先
（１）提出書類について
核融合科学研究所管理部総務企画課人事係
電話　０５７２－５８－２０１３（直通）
nifs-jinji@nifs.ac.jp

（２）研究内容等について
核融合科学研究所研究部プラズマ装置学ユニット
准教授　中野　治久
nakano.haruhisa@nifs.ac.jp

12. その他

（１）給与待遇は年俸制になります（年俸の１２分の１を月額支給)。

（２）本人事においては男女共同参画社会基本法の趣旨を尊重します。また、自然科学研究機構では、研究者の多様性を高めることにより、教育研究の質の向上に取り組んでいます。

- 当研究所は、ジェンダー、国籍、年齢、文化的背景を問わず優秀な研究者が集まる多様性豊かな研究環境を整備するため、ダイバーシティを考慮した研究グループ構成やその環境作りに積極的に取り組むことを基本方針としています。研究・教育業績や人物の評価において同等と認められた場合には、女性と外国人を積極的に採用します。ただし、これは性別又は国籍のみで優先的に採用することを認めるものではありません。
- 産前産後・育児・介護のための休暇・休業（育児部分休業、介護部分休業を含む。）の取得、または業務上もしくは通勤途上による傷病に起因する病気休暇・病気休職により研究を行うことができなかった期間がある場合には、履歴書等にその旨明記していただければ、業績を評価する際に考慮します。
- 自然科学研究機構においては、若手研究者支援奨学金代理返還制度を設けています。制度の要件を満たし、承認された採用者については、日本学生支援機構による奨学金の代理返還を行います。
- 受動喫煙防止の対策として、敷地内禁煙の措置を講じています。（ただし、屋外の指定箇所に喫煙場所を設置）
- 自然科学研究機構における求職者等へのセクシュアル・ハラスメントに対する基本方針（https://www.nins.jp/open/post_11.html）に基づき、求職活動等に関する遵守事項を徹底します。求職者等の人格と尊厳を守ることを最優先とし、求職者等に対するセクシュアル・ハラスメント等には厳正に対処します。

以上